

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック

上位関連計画にみる地域の将来
 ○地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成
 ○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22~24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量/実質GDP）35%減。
 ○現在の人口：2,845千人、将来：2,638千人（2030年）、2,236千人（2045年）
 （日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）茨城県）

②具体的な取組
 ・ワークショップを実施し、地域課題の共有、アクションプランをつくる（クラブ、スポンサー企業、地域のキーパーソン）
 ・環境プロジェクトを立ち上げ、実施する。（クラブ、企業、地域のキーパーソン）
 ・耕作放棄地を活用したソーラーシェアリングと農業の生産、食品加工を行う。（クラブ、企業、行政）
 ・ステークホルダーと新しい社会的な取り組みを実施する（クラブ、企業、行政、地域のキーパーソン、サポーター）

①ありたい未来
 耕作放棄地や高齢化が原因による里山の荒廃による地域資源の消失を防ぐために農業と気候変動対策を組み合わせたGXプロジェクトを実行していき、地域においてエネルギー、食材、人材、経済が循環する持続可能な地域を保つ。
 GXプロジェクトをきっかけにホームタウン15市町村の地域課題を水戸ホーリーホックと多くのステークホルダーのつながりのなかで新しい解決のアクションが起き続けている状態。

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	実績値 (2023年度末)	単位
環境	耕作放棄地の活用	新規耕作地数	0	1	0	箇所
	脱炭素社会化	気候変動に対する施策数	0	1	0	回
	耕作放棄地の活用	ソーラーシェアリング農場数	0	1	0	箇所
経済	財源が充実する	スポンサー企業の獲得数	0	1	0	社
	稼げる地域になる	新しい加工品の開発、販売	2	2	2	商品
	稼げる地域になる	地域商品の販売	3	3	3	回
社会	地域の働き手を増やす	新規就農者数	1	2	1	人
	互いを知り、コミュニティ化する	ワークショップ開催数	2	3	2	回
	互いを知り、コミュニティ化する	ワークショップ参加者数	40	50	40	人
	共に行動する	ステークホルダーとのアクション数	2	3	2	回

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	耕作放棄地の活用	ソーラーシェアリング導入市町村数	0	1	2030年度	5	市町
	耕作放棄地の活用	新規耕作地面積	0	0	2030年度	10	ha
経済	財源が充実する	GXプロジェクトへの投資額	0	2	2030年度	20	百万
	稼げる地域になる	開発商品の売上額	0	1	2030年度	10	百万
社会	地域のプラットフォーム	GXプロジェクト参加組織数	0	3	2030年度	15	社

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

短期的な目標では、地域のステークホルダーと協力して、具体的なアクションプランを策定し、実行に移すことを目指しています。これによって、地域課題の共有やネットワーク作りを促進し、持続可能な行動を促進します。それと同時に、Jクラブだからできる多くのステークホルダーを巻き込めるソーラーシェアリングと農業を掛け合わせたプロジェクトを立ち上げ、地域課題解決のひとつの事例を実現することにより、プロジェクトへの参加者数を増やし、ホームタウン内でのヒト・モノ・カネ・コトの循環が起り、長期的に耕作放棄地や働き手の課題解決につながっていきます。